視能訓練士ってなに？

視能訓練士は1971年に国家資格として誕生した医療専門職です。医療、保健、福祉、教育などの分野で専門能力を発揮し、みなさまの健やかな視生活をサポートします。

視能訓練士の略称は
「**CO**：Certified Orthoptist」です。

World Orthopitc Day（世界視能矯正の日）に合わせて、毎年6月の第1月曜日を「視能訓練士の日」と定めました。

Q&A

Q 視能訓練士になるためには
どうしたらいいのか教えてください。

A 視能訓練士を養成する大学や専門学校で専門的な知識や技術を学びます。その後、年に1回実施される国家試験に受験し合格することが必要です。

Q 視能訓練士はどんなところで
働いているのか教えてください。

A 多くが眼科診療所や病院に勤務しています。全国に眼科診療施設は10,000以上あり、眼科医は13,000名といわれています。眼科診療の充実のためには、視能訓練士の活躍が期待されています。

公益社団法人
J.A.C.O. 日本視能訓練士協会
事務局 〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-8-5 新神田ビル2階
TEL（03）5209-5251 FAX（03）6804-9233
HP https://www.jaco.or.jp

視能訓練士

Certified Orthoptist

視能訓練士は
皆様の健やかな視生活を守る
スペシャリストです。

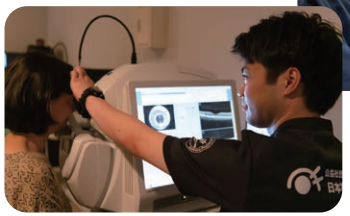
公益社団法人
J.A.C.O. 日本視能訓練士協会

「視る」を探求し眼を守る

眼科一般検査

人間の眼はとても複雑で大切な器官であるため、様々な検査が必要となります。メガネ・コンタクトレンズ処方検査、画像検査、手術前検査など、医師の診断や治療に必要なデータを提供し眼科医療の一翼を担っています。

▲メガネ処方検査



◀画像検査

4つの業務分野

眼科一般検査

視能訓練

健診(検診)業務

ロービジョンケア

視能訓練

視覚の発達する年齢は限られています。小児への視能検査を行い、視力向上や正常な両眼視機能の獲得を目的とした視能訓練を行います。

◀斜視(眼位)検査

片目ずつかくして斜視があるかの検査をしてます。

健診(検診)業務

3歳児健康診査における視覚検査や成人の生活習慣病予防健診などにも参加し、眼疾患の早期発見にも貢献しています。

▲視覚スクリーニング検査(手持ち式屈折検査)

アイフレイルサポート視能訓練士

アイフレイルとは加齢によって眼が衰えてきたころに、様々な外的・内的ストレスが加わることで、眼で見る機能が弱くなった状態、またそのリスクが高い状態のことをいいます。

アイフレイルサポート視能訓練士は、視機能のスペシャリストとしてアイフレイル対策活動をサポートしています！

ロービジョンケア

眼疾患や外傷などによる視機能低下(見えにくさ)について、一人一人に合わせた視覚補助具の選定や視覚リハビリテーション施設との連携などのアドバイスを行います。

◀視覚補助具の使用指導の様子